

僕できた！跳べたんだ！

～みんなから褒められた喜びで次のチャレンジへ～

始めは停止している縄に
近付くことからでした…



文責 南 陽子

先月の30日に大隅北保育園の学童(げんきぼ)との交流会でした。午前中は、廃材を使った製作。午後からは近くの体育館で体を使ったあそびをしました。

わらべうたの仕草(手を使ってあそぶ)から体の動き、そしてわらべうたの縄跳び(長縄)に展開していきました。長縄は縄の中に入りジャンプするという2つの動きがありま

す。その為なかなか跳ぶタイミングがつかめません。

その中で縄が当たるのが痛いと感じている、ゆうしんくん。支援員が「今だ！はい！」とタイミングを伝えますが困り顔の表情。順番が来ると体を構えて縄が回るのをしっかり目で確認し、跳ぼうという気持ちや意欲はあります。何回か縄が回るのですが、ゆうしんくんも縄に入るタイミングがあり進むことも難しい様子でした。そこで支援員と手を繋ぎ入るようにしました。「一緒に跳ぼうね」の声掛けで「うん！」とホッとした表情。支援員と一緒に手を繋ぐと縄の所までいけるようになりました。縄が動く様子を体で感じ、前後に動かしてタイミングを見計らっていました。始めは入るまでに縄が5回以上回っていたのが、5回・3回・・・と減っていきました。だいぶタイミングがつかめたので、次はこころちゃんと支援員との3人で挑戦しました。こころちゃんも縄に恐怖心がありました。しかし、ゆうしんくんが一緒に楽しそうな表情をしているので「やってみようかな」という気持ちになったのだと思います。そのうち何度かゆうしんくんの出番が来て諦めずチャレンジしているのを、げんきぼ学童の子が「がんばれ！いけ！」と応援するようになりました。ゆうしんくんも、しっかり応援を聞いて嬉しそうな表情でした。応援の声を周りのみんなが聞き、ゆうしんくんが跳ぶ時は大応援団のように「はい！はい！」の大合唱でした。私も『ここで跳べたら自信につながるのでは・・・』と期待し「がんばれ！」と応援しながら縄を回しました。(ちなみに・・・こころちゃんは跳べるまであとちょっと！でした。)



すると支援員を引っ張り自分で跳ぶ事ができるようになりました。もう体育館中、大拍手の大歓声！「やったね～」「良かったね～」「跳べたじゃん！」とみんなが自分の事のように喜んでくれました。ゆうしんくんも照れながらも嬉しい様子。それが自信につながり「一人で跳ぶ！」と言い、次からは一人で跳べるようになりました。ゆうしんくんの表情もたくましく見えました。

今回は大勢の子どもたちの中で出来たことを認めてもらい、自信につながりました。さらに『もっとやりたい！うまく跳べるようになりたい』という気持ちが強く、全体で縄跳びが終わった後も支援員を捕まえて「もっとしたい！」と長縄を持ってきました。私たち大人より、友達から認められ褒められることでさらに自信になった ゆうしんくん。子ども同士の言葉には魔法があるんだなと感じた場面でした。ゆうしんくんが「出来た！跳べた！」というこの気持ちを1人ひとり大切に共々喜んでいきたいです。そして子ども同士の繋がりがもっと深くなれるよう、げんきぼ学童との交流も目的のある活動にしていきたいと感じました。